



8月も終わりに近づき、これからの授業や行事の準備が気にかかるころでしょうか。猛暑で疲れた体に滋養が必要のように、頭やところにも栄養が必要です。これからの授業づくりや行事計画のヒントに、教育ライブラリーの資料をご活用ください。教育ライブラリーには、たくさんの教育図書、研究紀要・論文、教育雑誌、視聴覚資料などがあります。閲覧はもちろん貸出もできます。基本的に土曜日も利用できます。開館予定日は当ホームページでご確認ください。

書籍紹介

①「教室の荒れ・問題行動対応ガイド」

古田直之/著

(明治図書 2024年発行)

『学級が落ち着かなくて……』 そんな言葉をよく耳にするようになりました。飛び交う奇声。頻発する暴力行為。虚しく響く先生たちの指導。日に日に状況が悪化していく教室。不安で眠れない夜。疲弊していく心。心の病で病休する同僚。(中略) 笑顔と余裕がなくなっていく職員室……。本書の冒頭の部分です。読んでいて心が苦しくなります。では学級や学校がこのような状態になっていったとき、いったいどうすればいいのでしょうか。こうした問いに、困りを抱える子どもの指導に長年取り組んできた著者が、その経験から具体的に答えてくれるのが本書です。いかにして指導の主導権を握るか。そしていかにして大きな荒れに立ち向かっていくのか。著者の示す指導技術に賛同するかどうかは別としても、懸命に対応しているつもりが子どもに主導権を握られ振り回される結果になっているのかも、と気付かされる部分は多々あります。著者の指導技術の基本は、子どもとの信頼関係を結んで成長に導くためであると、最終章「関係性を育む」を読むとよくわかります。学級や学校の荒れが心配な方は一読の価値があります。

②「すごいぞ！はたらく知財 14歳からの知的財産入門」

内田朋子 他/著

(晶文社 2021年発行)

著作権をはじめとする知的財産権への理解がますます重要となりつつあります。これまで知的財産権とはあまり縁のなかった子どもについても、ネット社会の発達によって簡単に様々なコンテンツに触れて、コピーや発信ができるようになったため、知的財産権についての理解が必須となってきました。知的財産権の基本にあるのは、それを創り出すためにどれほどたくさんの労力と時間が費やされているかということへの理解と、それを生み出した才能への敬意です。本書では、音楽、映画、芸能、舞台芸術、テレビ、アニメ、ゲーム、アートなどの各分野の第一線で活躍している方が、作品が生み出されるまでの気の遠くなるような過程とその舞台裏を生き生きと語ってくれており、知的財産権の必要性を実感できる内容になっています。「14歳からの」と銘打っているように、誰にとっても分かりやすい平易な言葉で語られています。知的財産権の理解に役立つだけでなく、創造的な産業の舞台裏を知るキャリア教育の教科書としても好適です。

雑誌紹介

雑誌名	号	特集等 (抜粋)
国語教育 (明治図書)	8月号	<p>【特集】教材研究がとにかく捗るアイデア帳 ◇教材研究がもっと捗る20の引き出し ◇教材分析から授業構想まで 「あの教材」の教材研究アイデア帳</p> <p>【連載】◇言葉による見方・考え方を働かせる学習課題 ◇学びが見える！今月の国語板書録 ◇わが県の国語ソムリエ 東京都</p>
社会科教育 (明治図書)	8月号	<p>【特集】探究的な学びを実現する！「パフォーマンス課題」授業プラン ◇複雑な知識やスキルを使いこなす ◇指導と評価を一体化 ◇探究的な学びを実現する ◇思考ツール×パフォーマンス課題 ◇自由進度学習×パフォーマンス課題 ◇見方・考え方を育む ◇1人1台端末に対応した「パフォーマンス課題」探究的な授業デザイン ◇探究的な学びを実現する！「パフォーマンス課題」授業&評価プラン</p> <p>【連載】◇授業づくりの教科書 今度はお米の値段が下がらない！ ◇最新授業ネタ 小日本主義で生きる 今！石橋湛山から学ぶこと</p>
新しい算数研究 (東洋館出版社)	8月号	<p>【特集】算数科における学習内容の重点化 ◇第4学年「数の感覚を豊かにする小数のしくみとその計算」 ◇分数の性質の理解を深め、数としての感覚を豊かにする分数の除法 ◇第1学年 数の概念を育む数学的活動 数を数える活動に焦点を当てて ◇第2学年 「箱の形の構成」の単元構成と指導－捉えた特徴や機能をも のづくりに生かすことを重視して ◇子どもたち自身が構造化・体系化していく学習をデザインする</p> <p>【今月の話題】形式陶冶論争の再考 次期学習指導要領に向けて 【算数好きを育てる】統計的探究プロセス (PPDAC サイクル) でつくる 子どもの「知りたい」「やってみたい」を大切にしたい授業</p>
数学教育 (明治図書)	8月号	<p>【特集】「大阪・関西万博」から「生成 AI」まで 数学授業 最新ネタ 2025 ◇世界陸上のトラックを数学の目で見てみよう ◇大屋根リングの外周 と内周の差を求めよう ◇日本の少子化を教室で体感してみよう ◇東 京タワーから数学を学ぼう ◇外国人観光客に日本の SANGAKU を紹介 しよう ◇コメの価格を予想しよう ◇テーマパークを攻略しよう ◇ 大阪・関西万博の混雑状況を予測しよう 等</p> <p>【連載】◇学びをリッチ化する 数学授業ブラッシュアップ ◇テストづくりの技術を磨く 対話形式の問題のよさとは ◇タカタ先生のお笑い数学教室 「関数アート」にチャレンジ！</p>
理科の教育 (東洋館出版社)	8月号	<p>【特集】子どもも教師も育つ研究授業とは ◇理科教育が置かれている現状と課題及び授業研究の意味 ◇理科授業研究の進め方 (小学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもと共に学んでいく研究授業 <ul style="list-style-type: none"> －第4学年「水の三態変化」の事例を通して－ ・希望の光を受け継ぐ授業研究 自由と同僚性と志 ・教職員全員が安心して、愉しく授業研究ができる雰囲気づくり <ul style="list-style-type: none"> －「共有・協働・共感」し合う校内研修を目指して－

	<ul style="list-style-type: none"> ・理科の研究授業の進め方 子どもも教師も育つ授業研究 ◇理科授業研究の進め方（中学校） ・「苦しめない研究授業」の実現に向けた環境づくり <ul style="list-style-type: none"> －個人、学校、研究会が果たす役割と可能性－ ・小さな「わかる」を対話につなげる <ul style="list-style-type: none"> －中学1年「気象とその変化」の実践事例を通して－ ・模擬授業を核とした授業研究の再構築 <ul style="list-style-type: none"> －子どもと授業を軸とした対話を生む研修デザインの工夫－ ・日常の中で進める理科授業研究の在り方 ◇理科授業研究の進め方（高等学校） ・生徒が学びたくなる授業づくりに向けて <ul style="list-style-type: none"> －生成 AI をよき同僚に、学習者をよき助言者として－ ・学校が育成したい生徒像から検討する理科の授業研究 <ul style="list-style-type: none"> －授業力の向上を目指す校内研修の活用－
<p>英語教育 (大修館書店)</p> <p>8月号</p>	<p>【特集1】中学校教科書の上手な活かし方</p> <p>◇これからの教科書の教え方 「すべてを教える」から「必要な学びをデザインする」へ</p> <p>◇「教え込まず引き出す」文法指導の実践 CELTA の手法を生かして</p> <p>◇「音」と「文字」をつなぐ中学1年生へのアプローチ</p> <p>◇英語を通して世界とつながる探究へ 教科書と実社会をつなぐ授業実践</p> <p>◇いつ・どのように使うのか 生徒と見つけたデジタル教科書の“居場所”</p> <p>【特集2】生徒を変える「国際英語」の視点</p> <p>◇国際英語論と批判的応用言語学に基づく英語教育とは</p> <p>◇英語の多様性の理解を高める高校での探究授業 GELT プロジェクト</p> <p>◇「君にとって英語とは何だろう？」生徒の英語観の拡大を目指した実践報告</p> <p>◇高校生による海外研修での英語実践と Global English との接続</p>
<p>道徳教育 (明治図書)</p> <p>8月号</p>	<p>【特集】道徳名人の授業づくり special 講座 2025</p> <p>◇授業構想 ◇教材提示 ◇発問 ◇話し合い ◇書く活動・言語活動</p> <p>◇動作化・役割演技 ◇板書 ◇説話 ◇評価 ◇ICT ◇教具</p> <p>◇自作教材 ◇個別最適な学び</p> <p>◇名人推薦！ あの実践家のココをマネしたい！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・齋藤道子先生／子どもの考えをつなぐ問いかけは、実はこの先生に学びました ・青木淳先生／教材研究に真摯に取り組む姿勢 ・神山庄太先生／道徳の授業は「心をほぐすのが大切」ということ ・日向愛先生／教材研究と板書の丁寧さは、実はこの先生に学びました ・羽村麻美先生／「礼儀」の本質に迫る！動作化の比較を通して深める授業実践 <p>【連載】◇道徳教育 2030—未来予測と提言（第5回）</p> <p>◇もっと授業がうまくなる 道徳教材研究のすゝめ（第5回） 「ねらいとする価値への追求の見通し」を立てる Part 3</p> <p>◇夏休みは心と生成 AI について考える大チャンス</p>

<p>授業力&学級経営 力 (明治図書)</p> <p>8月号</p>	<p>【特集】 自立した学習者を育む令和の「学び方」大全</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇自立した学習者になるために必要な「教科の学び方」とは何か ◇“思考力”と“試行力”の2軸で考える「学び方」 ◇キーワード解説 自立した学習者の「学び方」大全 自己調整方略 探究のプロセス 「問い」づくり 対話 発表・プレゼン ファシリテート 振り返り メタ認知 思考ツール 共同編集 学習の複線化 サークル対話 等 <p>【連載】 ◇学級サポートアイテム 夏休み前後をつなぐ工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇子ども・保護者と信頼でつながる12か月の学級通信 8月 ◇「働き方改革」のマインドセット&実践事例 探してたものは、こんなシンプルなものだったんだ
<p>生徒指導 (学事出版)</p> <p>8月号</p>	<p>【特集1】 必要とされ続ける「学校行事」とは</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇特別活動の学校行事はなぜ必要か ◇学校行事の中で子どもの権利を考える ◇「誰一人取り残さない」学校行事がもたらすもの ◇主体的に取り組む生徒に「伴走する」支援の在り方 <p>【インタビュー】「ちょっと違う」をオープンにして生きる／えりかん</p> <p>【連載】 ◇不登校解決の最終目標は、学校復帰ではなく、社会復帰</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇今だから質問しよう！日本の学校の常識 家庭学習は親の責任？ ◇支える生徒指導×授業づくり 心理的安全性を育む教師の声かけ ◇生徒指導事案リーガルナレッジ 性に関する課題 ◇教師を楽しむ仕事論 教師のリフレッシュ術 ◇「ただ、学校に合わないだけ」個性を活かしたフリースクール
<p>教職研修 (教育開発研究所)</p> <p>8月号</p>	<p>【特集1】 学習環境リデザイン</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇「自立的な学習者」を育てる学習環境 ◇環境が変わると、教師の授業観が磨かれる 図書室の中に学校をつくる ◇最大の「学習環境」は学級経営 ◇これまでの学校・教室と、これまでの学び ◇学習環境と授業スタンダード ◇幼児教育にみる、主体性を育む学習環境 ◇特別支援教育に学ぶ学習環境 ◇教室数・予算・教職員にゆとりのない学校でもできる工夫 ◇1人1台端末を使い倒すための学習環境 ◇加賀市「空間デザインプロジェクト」 ◇子どもがつくる「わたしたちの教室」 空間から生まれる主体性の芽 <p>【特集2】 今、問いなおす「標準の数」②</p> <p>“時数(間)・人数・規模”の5年後を突き動かす管理職座談会</p>
<p>初等教育資料 (東洋館出版社)</p> <p>8月号</p>	<p>【特集1】 各教科等の目標の実現に向かう GIGA スクール構想のもとでの授業①<国語科・社会科・算数科・理科・生活科・音楽科・図画工作科・特別支援教育></p> <p>【特集2】 主体的に社会参画する態度を育む特別活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇主体的に他者と協働し、役割を担う学級活動 ◇「歯と口の健康」を全校生へ広げた児童会活動

		<p>◇自分の「好き」を生かし合ったクラブ活動の実践</p> <p>◇校内音楽会を通して主体的に取り組む学校行事</p> <p>【連載】◇子供と教育 不確実性の高い時代に必要な力</p> <p>◇教育の扉 「見えない仕事を、可視化する。」</p> <p>◇StuDX Style だれも (D) とりのこさない (X) 明道小の DX—端末活用による授業改革とポータルサイト活用による業務改革</p>
中等教育資料 (学事出版)	8月号	<p>【特集】各教科等の指導における問題発見・解決能力の育成②<理科, 保健体育, 音楽, 美術, 芸術, 外国語></p> <p>【連載】◇窓「探究って、なんかつまらないんです」</p> <p>◇教育小景 AI時代の教育の価値</p> <p>◇各教科等の改善/充実の視点—各教科調査官</p> <p>◇肢体不自由のある生徒に対する各教科等の指導における問題発見・解決能力の育成</p> <p>◇商業教育の現状とデジタル技術を活用した学習指導の充実に向けて</p>
実践みんなの特別 支援教育 (Gakken)	8月号	<p>【1冊まるごと特集】当事者のホンネをふまえて合理的配慮！</p> <p>◇「あなたのために」は本当か？子どもが自分のために自分で学べる学校</p> <p>◇私たちの考える合理的配慮って？</p> <p>◇学ぶ意欲も自己肯定感も、学校の関わり方しだい！</p> <p>小・中・高等学校での合理的配慮って？</p> <p>◇学習環境や内容は、どうやって決めるもの？</p> <p>子どもを中心に学校と話し合うということ</p> <p>◇子どもを真ん中に先生と保護者が歩み寄る！</p> <p>子どもの共通理解を進めるには？</p> <p>◇自己理解を支えるオリジナル尺度表「自分メーター」</p> <p>◇授業で困りそうな場面、学びやすい方法を「もしもシート」でチェック！</p> <p>◇問題行動を「困りごとのサイン」として捉え、記録することから本人の意思を探る</p> <p>◇感覚の特性によって困っている子どもみんなの中で過ごしやすい音環境づくり</p>
特別支援教育研究 (東洋館出版社)	8月号	<p>【特集】「主体的に学習に取り組む態度」をどう評価していますか？</p> <p>◇児童生徒の興味関心を引き出す授業設計の実践事例</p> <p>◇「もっとやりたい」「やってみたい」につながる「わかる」「できる」</p> <p>◇岡山県における「主体的に学習に取り組む態度」の評価の取組について</p> <p>◇子どもの表出を手がかりに内面を見取る授業実践</p> <p>【連載】◇専門性の維持継承のために全員で取り組む公開授業研究会</p> <p>◇係の仕事ってなんで大事なの？ 学校生活の中で子どもが担う役割</p> <p>◇地域との連携の意義 お互いを知ることによって生まれる価値観</p>
特別支援教育 (東洋館出版社)	夏号	<p>【特集】総合的な学習（探究）の時間</p> <p>◇協働的な学びに重点を置いた「総合的な学習の時間」の取組（視覚障害教育）</p> <p>◇「地域の魅力探究と魅力アップ作戦」の取組（聴覚障害教育）</p> <p>◇地域企業とのコラボ商品開発！万能調味料「うまくてごめんな山菜」の開発・販売（知的障害教育）</p>

		<p>◇「郷土について知ろう」(肢体不自由教育)</p> <p>◇入院治療中の児童生徒の教育的ニーズを踏まえた総合的な学習の時間の授業づくり(病弱教育)</p> <p>◇自閉症・情緒障害特別支援学級における探究的な見方・考え方を働かせる総合的な学習の時間の取組</p> <p>【連載】◇特別支援学校就労支援「夢ふくおかネットワーク」の取組</p> <p>◇知的障害特別支援学校における ICT を活用した探究学習の充実</p> <p>◇卒業生は今 映画を通して個の身体の語りに向き合う/映画監督</p> <p>◇県立高等学校における「通級による指導」 生徒の気持ちに寄り添う「ぐんま方式」</p>
<p>学校図書館 (全国学校図書館 推進協議会)</p>	7月号	<p>【特集】戦後80年。戦争をどう語り継ぐか 学校図書館の役割は</p> <p>◇考え続けたい私たちの戦後責任</p> <p>◇平和を希求する心を育む ヒロシマの学校図書館の役割</p> <p>◇子どもの主体性が発揮される平和学習をめぐって</p> <p>◇小学生に手渡したい「戦争と平和」の本</p> <p>◇YA向け「戦争と平和」の本</p> <p>◇絵本が伝える「戦争」と「平和」 私たちはどんな未来を生きたいのか</p> <p>【連載】◇きらり！学校司書 「学びのライブラリー 小学校編」</p> <p>◇〈あらし読み〉体験をしよう 〈あらし読み〉からレポート作成へ</p>
<p>高校教育 (学事出版)</p>	8月号	<p>【特集】公立と私立</p> <p>◇[特別対談]「無償化」で何が変わる？</p> <p>◇政治主導の高校無償化が高校教育にもたらす影響</p> <p>◇公私の役割とバランスをめぐる歴史の変遷</p> <p>【インタビュー】得意なことより「好きなこと」を仕事にする生き方を</p> <p>【連載】◇伝統校での ICT と AI の活用 高知県立高知小津高等学校</p> <p>◇広島叡智学園中学校・高等学校 「学びの変革」を体現する公立校</p> <p>◇2040年、教育の旅 2040年の国語教室：AI時代の小論文対策編</p> <p>◇情報教育の現在地 高等学校のための生成 AI 入門①</p> <p>◇探究リポート！ 探究学習を組み立てるための8冊</p>
<p>道徳と特別活動 (文溪堂)</p>	8月号	<p>【特集1】『同調圧力』『正解主義』への偏りからの脱却」を掘り下げる これって『同調圧力』『正解主義』？ 学校あるあるシーン検証 MAP 他</p> <p>【特集2】子供たちの多様な他者と協働する力を育てる特別活動 全特活研・全小行研全国大会に向けて</p> <p>【連載】◇学級を経営する道徳パスポート いじめを未然に防止する</p> <p>◇3ポイントで解説する 道徳と特別活動の学びを支える学級経営の基本 「通信簿の所見」と「休み明けの指導」</p> <p>◇つかれたところに寄り添う 先生のメンタルケアルーム/諸富祥彦 学級経営で「心が疲れてしまう」瞬間とその対処法</p>
<p>学校事務 (学事出版)</p>	8月号	<p>【特集】「無償政策」時代と学校財務マネジメント</p> <p>◇学校徴収金無償化の全国的状況と事務職員にとっての無償化政策について ◇給食費の公会計化、補助・無償化に伴う学校事務職員の実務の変化と制度の課題 ◇修学旅行や教材費を無償化 豊中市の取り組み「学びの充実をめざして」 ◇[特集関連企画] 私立高校授業料の実質無償化が</p>

	<p>高校へ与える影響</p> <p>【連載】◇学校事務 ICT 時短術 副教材費管理システム</p> <p>◇今月の書評 『子どもの体験 学びと格差』</p> <p>◇知っておきたい！「特別支援教育」入門 障害者手帳制度と学校事務</p> <p>◇実践のススメ 児童とともに取り組む学校環境整備</p> <p>◇気になる教育トピック 給特法等改正法案が成立</p> <p>◇特別支援教育の就学支援制度 特別支援教育就学奨励費の基本的特徴</p>
<p>指導と評価 (日本教育評価研 8月号 究会)</p>	<p>【特集1】「探究的な学び」の充実</p> <p>◇“学習”としての“探究” 問い直さなければならない『話し合い』観</p> <p>◇小学校における「探究的な学び」の指導 「どのように学ぶか」「何について学ぶか」</p> <p>◇中学校・高等学校における「探究的な学び」の指導 「ちゃんとするマインド」をいったん手放す</p> <p>【特集2】負の感情とどうつき合うか</p> <p>◇いじめ加害者の負の感情 「加害者支援」の視点に立ったいじめの予防</p> <p>◇不登校との関連から考える「教師への負の感情」 学校心理学における「チーム援助」の視点から</p> <p>◇自分への負の感情（自傷） ◇教師自身の負の感情</p> <p>【連載】◇協働学習が成り立つ学級集団づくり</p> <p>◇研究開発校の挑戦 一人の問いにみんなが関心を寄せ、対話を通して練り上げていく「かがやく時間」 奈良女子大附属小学校</p>